

練馬若年認知症サポートセンター 平成24年度事業報告

1 はじめに

練馬若年認知症サポートセンターでは、平成23年7月の開設以来若年性認知症に特化した専門性の高いきめこまやかなデイサービスを展開し取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方々に愛されるデイサービスとして3年目を迎えようとしております。

2 利用者実績について

平成23年8月から利用者を受け入れ、1月あたりの利用者の延べ人数は平成25年3月において140名を超えるに至りました。

3 事業内容

通所介護事業（一般デイ、若年認知デイ）

- (1) 利用定員 1日 7名
- (2) 利用日 月～土曜日
- (3) 利用時間 午前9時30分～午後5時00分（送迎時間含まず）
- (4) サービス内容

①通所介護計画に基づくサービス提供

ケアプランに基づいた適正な通所介護計画を作成し、利用者及び家族の意向と状況把握に努め、全ての利用者がより良い在宅生活を継続できるよう支援しました。

②健康管理

利用者の健康状態を観察・把握し健康管理及び健康指導に努め、異常の早期発見

早期対応に努めました。また、緊急時は家族及び主治医との連携による迅速かつ最善の対応に努めたり、感染症予防のための適切な対応及び対策の徹底を図りました。

③食事

管理栄養士と連携をとりバランスの取れた昼食の提供をしました。

また、個々の利用者の状態及び嗜好を把握し、食事内容・形態に配慮した“食”に喜びを感じられるような食事の提供をしました。

④入浴

通所介護計画に沿った、入浴サービスを提供するとともに環境整備にも努め、利用者に寄り添う個別対応を提供しました。

⑤送迎

利用者個人の意向を尊重し、心身状態及び地理的状況等を考慮した送迎車両・送迎ルートに配慮し無理のない送迎サービスを提供しました。また、安全第一を念頭に置いた走行、及び車両の定期的な点検・整備を行い利用者の安全確保に細心の注意を払うとともに、車両内外の清掃を徹底し、利用者が快適に乗車できるよう努めました。

⑥生活相談

利用者および家族の各種相談に連絡帳の活用や、個別対応を心掛け必要に応じて担当ケアマネージャー・地域包括センター等と連絡調整を行い利用者の在宅生活を支えるとともに、家族の介護負担の軽減を図りました。

⑦活動（レクリエーション等）プログラム

年間活動計画を立て、月ごとの誕生会や季節の行事に合わせたレクリエーション等、利用者のニーズに合わせた企画・提供を行いました。

4 今後の課題

若年性認知症は、ご本人だけでなくご家族の方々の心理的、経済的負担が大きく、行政機関や他の事業者とも連携しそれらを軽減するための相談支援体制を充実していくことが今後の課題である。